

題名 平和な世界に向かって

鹿沼市立南押原中学校 (氏名) 久保 亮介



これまで、私は世界が平和であればいいなと漠然と思っているだけでした。しかし、広島平和記念式典派遣事業を通して、一瞬にして多くの尊い命を奪う核を廃絶し、一人ひとりが互いのことを認め合う姿勢が大切であると学び、どんなことが私たちにできるのかを考えるきっかけになりました。そして、戦争という人間最大の過ちが起きたのは、自分のことを一番に考えてしまうことからきたのではないかと思います。よって、一人ひとりが戦争の恐ろしさを知り、相手を思いやる心をもつことで戦争のない世の中が訪れるのだと思います。世界中には、今もなお戦争により、辛い思いをしている人がたくさんいます。そして、戦争の被害について語り継ぎ、風化させないよう努力している人もいます。今現在、日本では戦争のない暮らしが続いています。でも、世界はそうではありません。その動きをくい止めるためにも、私たちがバトンを受け継ぎ平和への歩みを進めていくことが私たちにできることだと感じました。